



神高生の主張

平成28年度「夢を追う神高生の主張大会」が、12月15日（木）に本校体育館で実施されました。

テーマは『自分の夢・生き方を考える』です。発表した6名の代表者の題目は以下の通りです。1年生は『自分の進むべき道』と『夢に向かって』、2年生は『あの背中に追いつきたくて』と『夢への成長』、3年生は『二つの夢』と『小学生からの夢』でした。1年生は高校生活の大切さ、2年生は将来の進路目標、3年生はこれからの進む道の大切さを主張しました。クラス代表ということもあり、しっかりと自分を見つめ、発表しました。



3年生の発表を簡単に紹介します。

『二つの夢』とは、大切な家族を支えるために選んだ進路とこれまで支えて下さった方々に対する思いからの進路です。主張した本人も非常に厳しい道だとは分かっていますが、働きながら勉強に励み、必ず自らの夢を叶えてみせると力強く誓う発表でした。

『小学生からの夢』は、自分を育ててくれた母への感謝と夢を夢で終わらせないために、成すべきことは何かを考え、具体的な計画を立て、目標に向かって精一杯努力することの大切さ、目標の達成がまた新たな次の目標を生み出していくことを自分の言葉で一所懸命に伝えました。

いのちの大切さ 学び教室

12月16日（金）、卒業間近の3年生を対象に「いのちの授業」を実施しました。

はじめに、神河町健康福祉課主任保健師の丸尾計子さんから、「幸せな大人になるために心も体も準備しておく必要がある」というメッセージが送られました。

助産師の前田美佐代さんはいのちをつなぐことの意味について、体験を交えながら話をされました。赤ちゃんの弱さ、可愛さを母性や父性で感じ取り、育てることの責任、そして生命の神秘ということでした。

生徒は真剣に講演に聞き入り、自分の人生や新しいいのち、異性との信頼関係の結び方について、感じたことでしょうか。社会的自立の面からも有意義な講演でした。

校外学習

12月20日（火）3年生は身近な歴史遺産を学ぶために、朝来市の竹田城跡へ出かけました。播但線を利用して竹田駅へ、そこからは徒歩1時間半程で城跡の入口に辿り着きました。

途中霧雨に二度ほどあいましたが、比較的天候に恵まれ、城跡では遠くに雲海を望むことができ、山城の雰囲気と歴史的な意味を学ぶことができました。

天守跡を背にしてクラス集合写真を撮り、仲間と歓談しながらの昼食、休憩を挟んでの下山。普段とは異なる貴重な体験ができました。



ちょっと一言 ◇新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。今号では、昨年12月に行われた「神高生の主張大会」をはじめ、「いのちの授業」や竹田城登城など、高校生活のゴールが見え始めた3年生にとって忘れ得ぬ思い出となるであろう諸行事についての報告がなされています。入学以来のいろんな想いを胸に、残りわずかとなった「神高デイズ」を日々噛みしめながら過ごしてもらえれば幸いです。（H. H.）